

人と自然が輝く水源の郷



水カフェどうし 移住相談会 20170326

道志村に～ 住みませんか～！

- 定例会 (RESAS 中学校講座支援事業費の承認) P 2
- 議案等の質疑 (道志村若者定住応援条例とは) P 3
- 一般質問 (7人が問う) P 6～13
- あの一般質問は・今 (国道 413 号線危険箇所の要望書提出) P16
- 紹介／がんばる人紹介 (民生委員児童委員会／山口大介) P17～18

みなさまの声を議会に

TEL : 0554-52-2112 FAX : 0554-52-2572 E-mail : gikai@vill.doshi.lg.jp

3月 定例会

RESAS[※]中学校講座支援事業費の承認

3月定例会は3月7日から17日まで開催され、●1件の条例制定●10件の条例改正●2件の指定管理者の指定●28年度一般会計補正予算●28年度の7件の特別会計補正予算●29年度一般会計予算●29年度の7件の特別会計予算、合計29案件を審議し可決しました。

7人の議員が一般質問し村政の考えを問いました。

おもな審議事項

●平成28年度一般会計補正3802万円を減額、総額21億6600万円で議決

おもな財源	・村税	△190万円
	・国庫支出金	△63万円
	・県支出金	△8914万円
	・村債	1370万円
	・地方交付税	5920万円
おもな使いみち	・総務費（管理棟改修費、政策費委託料）	△3818万円
	・民生費（介護基盤整備事業）	△1億2236万円
	・農林水産業費（中山間地域所得向上支援事業）	2382万円
	・教育費（学校建設委託料）	△907万円
	・諸支出金（積立金）	1億5417万円

●条例制定、改正を議決

条例制定	1件	・道志村若者定住応援条例
条例改正	10件	・道志村水道給水条例の全部を改正する条例他

●指定管理者の指定を議決

- ・道志の湯の指定管理者を決定（期間1年間）
- ・道志村農林水産物処理加工施設豆腐加工所を決定（期間1年間）

●平成28年度特別会計補正 年度末で予算執行決定に伴う件が主で全て議決

●平成29年度一般会計予算、総額19億1500万円で議決

おもな財源	・村税	1億9387万円
	・地方交付税	9億2278万円
	・県支出金（社会福祉費補助金）	1億6051万円
	・寄付金（一般寄付金、道志村応援寄付金）	1億4078万円
おもな使いみち	・総務費（まちひとしごと創生総合戦略事業）	3億4956万円
	・民生費（扶助費、繰出金）	3億6165万円
	・土木費（道路維持費）	1億8766万円
	・教育費（入学祝金支給事業）	1億9557万円

●平成29年度一般会計予算7会計を議決

※RESASとは、地域経済に関する様々なビックデータを地図やグラフで分かりやすく可視化したシステムです。生徒や教員が授業等に取り入れられるよう、操作方法や実践的な活用方法について講座支援を行う。

QA 議案等の質疑



本定例会で行った、協議会での質疑の一部を紹介します。

Q 道志村若者定住応援条例とは

●この条例の目的は

A 平成29年4月1日から5年間、若者等の定住を応援するために住宅に関する補助金の交付、新築、増改築の利子補給を実施し若者の増加を図り過疎化を防止し、豊かで活力ある地域づくりを目的とする。



谷相地区若者定住促進住宅

Q 現在使用していない公共施設の今後の対応は

●今後の利用計画は

A 今後使用期限の来る公共施設等については、公共施設等管理計画に基づき、それぞれの建物に対して、有識者を入れた検討委員会を立ち上げ検討していく。



水源の森野外音楽堂

Q 来年度の清流花火大会は

●主催、規模、予算は

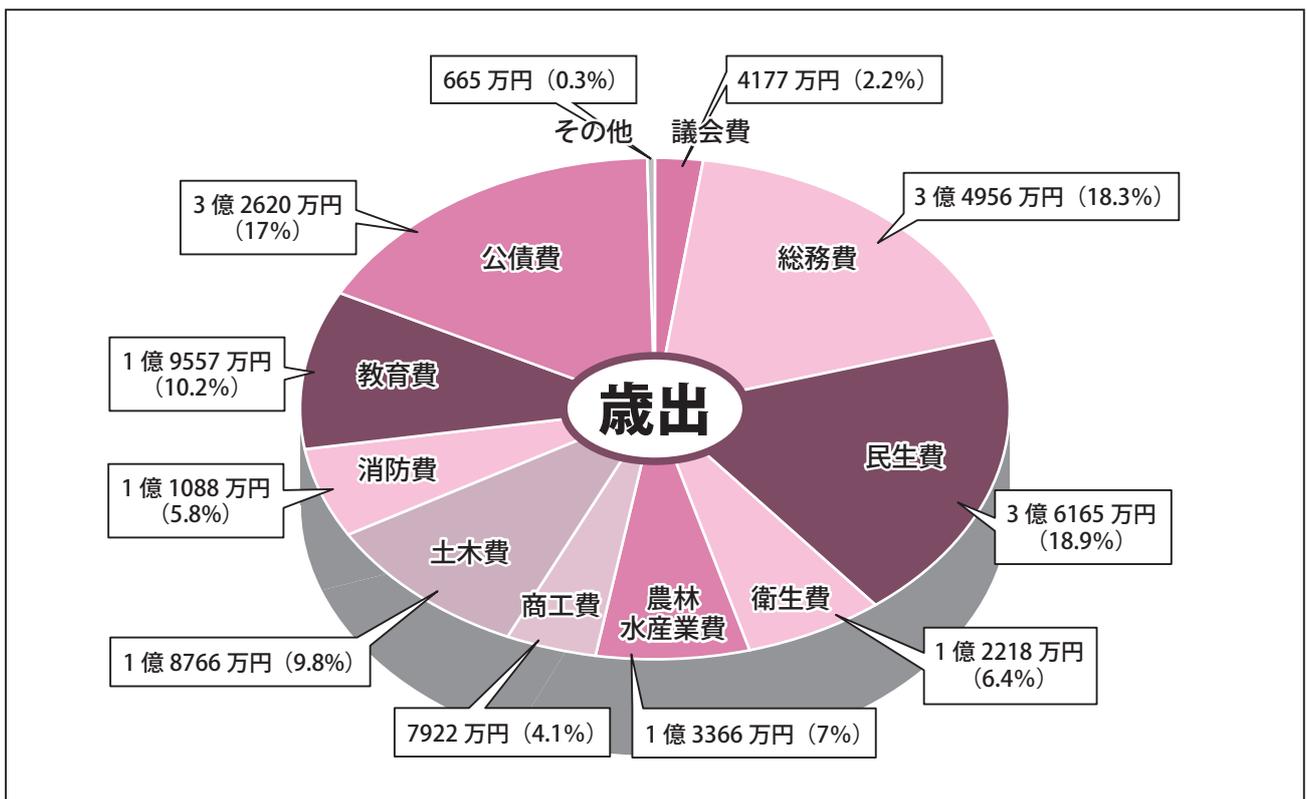
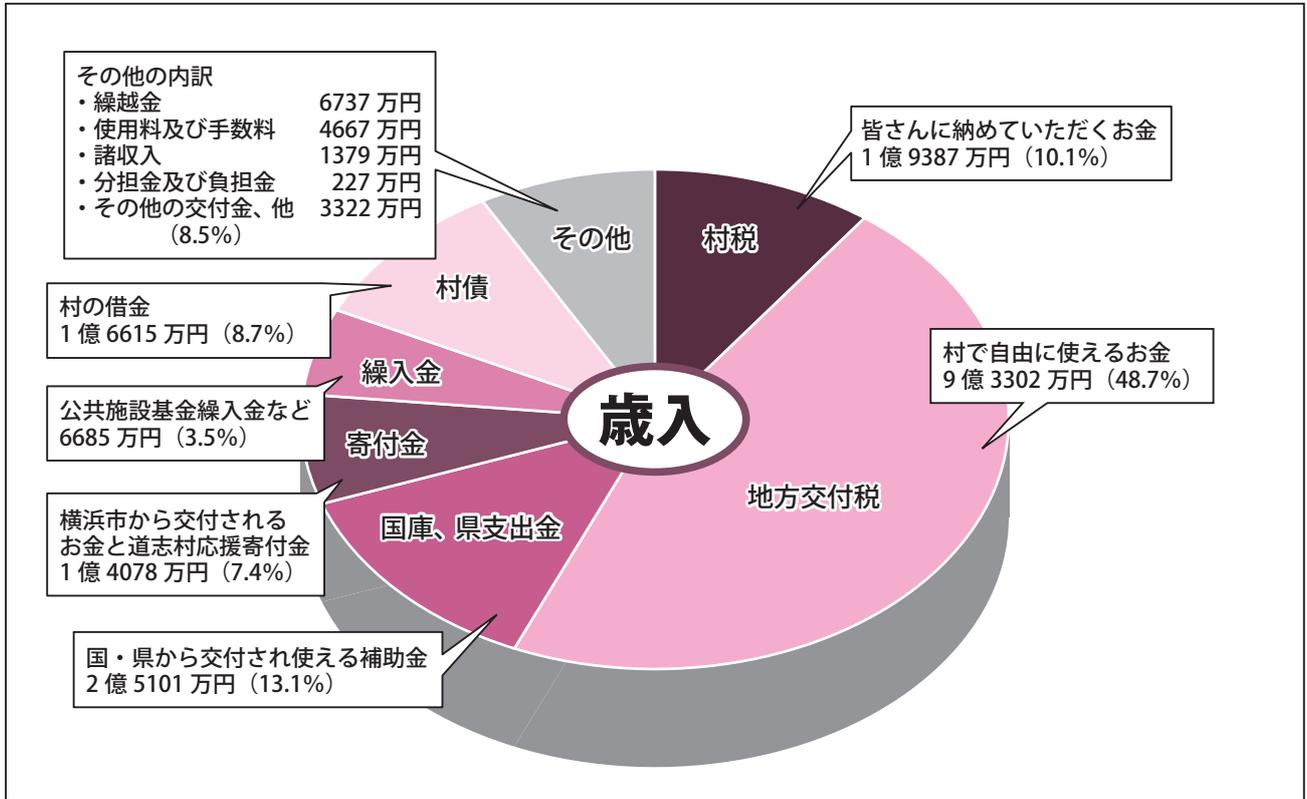
A 主催は水源の郷道志清流の花火大会実行委員会です。各団体の協力を得て組織の充実を図り、早期に実行委員会を開催し内容を検討します。規模は今年の倍程度で実施予定です。



第1回花火大会

00万円を可決 前年度比

マイナス
2.6%



※ 数値は万円単位に調整してあります。

平成29年度 一般会計予算 小中学校整備事業費3499万円など

19億15

平成29年度 一般会計予算の主な事業は

総務課	<ul style="list-style-type: none"> ●公有財産管理事業 1650万円 ●情報通信施設管理事業 1905万円 ●防災行政無線管理事業 574万円 ●災害対策事業 938万円 	<ul style="list-style-type: none"> ●情報システム事業 1958万円 ●消防団施設管理事業 375万円 ●消防団活動事業 1033万円
ふるさと創生推進室	<ul style="list-style-type: none"> ●横浜市道志情報館事業 1686万円 ●移住・定住促進事業 632万円 ●道志ライフスタイル検証事業 385万円 	<ul style="list-style-type: none"> ●公共交通対策 980万円 ●創業支援事業 100万円
住民健康課	<ul style="list-style-type: none"> ●社会福祉協議会運営事業 1049万円 ●障害者自立支援介護給付事業 2700万円 ●すこやか子育て医療費助成事業 505万円 	<ul style="list-style-type: none"> ●重度心身障害者医療費助成事業 1013万円 ●予防接種事業 578万円 ●いきいき健康村どうし健診事業 738万円
産業振興課	<ul style="list-style-type: none"> ●一般廃棄物処理事業 5463万円 ●農業基盤整備促進事業 729万円 ●橋梁長寿命化修繕事業 4557万円 	<ul style="list-style-type: none"> ●農村地域防災減災事業 2720万円 ●林道改良事業 1242万円 ●地域おこし協力隊事業 1220万円
教育委員会	<ul style="list-style-type: none"> ●村単教員設置事業 1159万円 ●学校スクールバス委託事業 3278万円 ●小中学校整備事業 3499万円 	<ul style="list-style-type: none"> ●JETプログラム推進事業 450万円 ●学校給食事業 2112万円 ●入学祝金支給事業 71万円

平成29年度 特別会計予算は

会計名	平成29年度予算	平成28年度予算	前年度比
国民健康保険	3億4534万円	3億6146万円	△4.5%
国民健康保険診療所	1億1929万円	1億2636万円	△5.6%
簡易水道事業	6607万円	8413万円	△21.5%
介護保険	2億1084万円	2億2218万円	△5.1%
介護保険サービス事業	138万円	132万円	4.5%
浄化槽事業	1億1351万円	1億1765万円	△3.5%
後期高齢者医療	4466万円	4523万円	△1.3%
合計	9億109万円	9億5833万円	△6.0%

3月定例会一般質問一覧

- 佐藤 一仁 議員
 1. 長田村政の4年間を問う
- 山口 博康 議員
 1. 次期村長選への考えは
 2. グリーンロッジの今後の活用方法は
 3. 29年度村の主な工事予定は
- 佐藤 和彦 議員
 1. 村道谷相池之原線にスクールゾーンの設置は
 2. 人口減少対策の取り組みは
- 池谷 高明 議員
 1. 空き家調査結果と対策は
 2. 食用菊栽培結果と今後の取り組みは
- 佐藤 進 議員
 1. ふるさと納税サイト掲載後は
 2. 道志の湯露天風呂改修後は
- 佐藤 長久 議員
 1. 児童健全育成事業・学童保育の運営方針は
 2. コミュニティースクールの方針は
- 杉本 孝正 議員
 1. 小田原甲府線構想の再構築は
 2. 山北スマートインターチェンジ設置に寄せる期待は

一般質問
ここが聞きたい
村政を問う

7人の議員が質問

- ・ 本文掲載は要旨のみです。
- ・ 再質問は議事録で閲覧できます。
- ・ 議事録は議会ホームページで5月中旬ごろ閲覧できます。

議会を傍聴しませんか

- ・ 次回定例会は6月に開催します。
- ・ 傍聴の定員
- ・ 本会議10人（席の都合上）
- ・ 3月定例会の傍聴実績
- ・ 本会議9人
- ・ 問い合わせ 議会事務局

☎ 0554-521112

※一般質問の形態・方法が変わりました。9月定例会から一問一答方式を試行的に実施しています。

Q 長田村政の4年間を問う

A 公約実現に向けて奮闘中、まだ道半ば



佐藤

県道都留道志線、防
災トンネル建設活動で
期成同盟会結成後会議
は何再開されたか。

また、今後の取組
みは

村長

都留道志線道坂トンネ
ルの期成同盟会は、平成
26年11月4日結成後会議
は開かれていない。

期成同盟結成後の活動
としては、都留市長とも
協議して知事や県建設部
長、管轄する富士東部建
設事務所などへの陳情を
続けており、本年5月に
会議を開催する予定です。

Q 地域密着型老人福祉
施設の建設について選
定事業者が辞退した
が、その後の進展状
況は

A 新たな事業者と交渉中

村長

同施設をめぐる社会情
勢は介護報酬の引き下げ
や、介護の人手不足があ
り、介護事業の運営が厳
しい状況が発生していま
す。道志村における地域
密着型老人福祉施設の意
義は大きく、村民福祉の
向上、雇用対策に繋がる
ものであり継続して交渉
中です。

Q どうしの湯は(株)どう
しに管理を委託してい
るが、平成25年から3
年間で2232万円の
赤字が発生している。
この原因は何か

A 近隣に類似施設が開設
されたことが主原因

村長

道志の湯の利用者数は

過去10年で
3割程度減
少しており、
主な原因は

近隣に類似
施設が開業
したことが
最大の要因
であると考
えています。今後はこの

赤字解消のため平成28
年度で施設改善、食堂メ
ニューの見直しを行って
いる。また、SNSを利
用した情報発信や、職員
研修にも尚一層力を入れ
ていきます。

Q 水源の郷清流花火大
会を実行委員会主催の
もと企業からの協賛金
を得て実施されたが、
村はどのように関与し
たのか。

また、来年度はどの
ように考えているのか

A 実行委員会主催のもと
村と協調して実施した

村長

本年度は第一回という
こともあり、順調にいか
ない所がありました。が、
実行委員会と村が協調し
ながら実施することが出
来ました。予算について
は総額320万円で協賛
金が3分の1、村の予算
が3分の2ほどです。平
成29年度は実行委員会を
中心に村内団体の協力も
得て前年の2倍位の規模
で実施したいと思えます。

(再質問あり)



Q 次期村長選への考えは

A まだ道半ば、立候補を考えている



山口

村長は、1期4年の任期を迎える今、公約の防災トンネルの新設、地域密着型特養の誘致は道半ばと思われま

す。公約にはなかった小中学校の建設は、約13億円という道志始まって以来の大きな予算を投じて今、完成しようとしています。

継続性の観点から、また村長の実行力の観点からも、次期村長選に立候補し公約の実現と村の安心、安全な生活について努力すべきと思うが、村長の考えは

村長

就任以来「住んでみたい村・住んでよかった村」の実現を目指し、生活基盤整備や学校建設・村の将来像を決める『総合計画』『創生総合戦略』の策定・道

の駅どうし』『道志の湯』の整備など様々な課題に取り組んできましたが、1期4年の限られた任期の中では、公約を果たしきれないのが現状です。

防災トンネルは、建設促進同盟会設立後、山梨県の社会資本整備事業計画に認定されました。更に調査費も予算化の要望活動を行うとともに『国土強靱化地域計画』の策定を行うなど、ようやく整備促進に向けて土台が整ったところですが、まだ道半ば、事業着手に向け、引き続き取り組みなければという思いです。

『地域密着型特養の誘致』は、協議を行っていた法人が辞退という結果でしたが現在、別の法人と協議を行っており整備を目指し責任を果たしたいと考えています。

人口減少対策として若者定住促進のための公営住宅

整備、新たな学校教育体制の構築、産業の6次化、また、公共施設の維持管理と耐震化にともなう役場庁舎の整備検討など課題が山積しています。この課題の解決に向けてこれまでの経験を活かし、村政運営を行うため、7月の村長選挙に立候補したいと考えています。

Q グリーンロジックは、指定管理も終わり使命を完了したものと思います。今後の活用方法、具体策は

A グラウンドとして貸し出す

村長

平成29年度は林間広場と同様にグラウンドとして民宿などに貸し出しを行う予定です。

それ以降の利用方法は、公共施設管理計画を参考に、会議にて決定していく。

Q 公共工事で3月までに発注出来るもの、県が発注予定している把握しているもの、また、29年度、村の主な工事予定は

A 3月中の発注1件、次年度予定10件程度

村長

本年3月中に発注される工事は、湯本土砂流出防止施設のみです。

29年度の見込みは、「戸渡土砂流出防止施設」「大栗橋耐震工事」「耐震性貯水槽2基」国道改良工事が善之木地内、谷相地内、西和出村地内の3か所、野原く月夜野トンネルの大渡地内にも着工すると連絡を受けています。

村発注工事は、「村道戸渡谷相線舗装工事」「村道道坂線改良工事」その他小規模な修繕工事などがあります。

(再質問あり)

Q 村道谷相池之原線にスクールゾーンの設置は

A 不自由が予想されるので指定予定はなし



佐藤

村道谷相池之原線で
優先道路、一時停止、ス
クールゾーン、安全地帯
(ゼブラゾーン)等の設
置の予定は

産業振興課長

村道谷相池之原線の沿
道には、村の重要施設が
集中しています。

スクールゾーンに指定
すると、診療所や福祉
センター利用者、また池
之原団地に入居している
方々が非常に不自由にな
ることが予想されます。
現在のところスクール
ゾーンに指定する予定は
ありませんが、村道室久
保線との交差点は公安委
員会と相談しながら一時
停止の標識設置を考えて
います。

Q 人口減少対策に平成
27年度から取り組んで

きたが、その経過と検
証は

A 「まち・ひと・しごと
創生総合戦略推進会議」
を立上げる

ふるさと創生推進室長

昨年3月に総合戦略の
策定が完了し、新規38事
業・継続39事業の計77事
業の内、新規14事業・継
続37事業を実施しました。
残りの新規事業について
は、新年度からの実施に
向け6事業を計画し、9
事業は調査・検討中、9
事業については未着手と
なっています。事業全体
では調査・検討中まで含
め、87%について取り組
みを行っています。

次に総合戦略事業の検
証ですが、2月23日に「道
志村まち・ひと・しごと
創生総合戦略推進会議」
を立上げ、第1回会議を

行いました。この会議で
は、人口ビジョン、総合
戦略について検証し、見
直しに関する事項を調査、
検討していただきます。
平成27年28年度事業内容、
進捗状況、事業成果等に
ついて検証を今後行い、
6月には公表する予定で
す。

Q 小中一体校舎が完成
し、小人数学級による
個性的な学校教育が期
待されるとありますが、
どのような考えか

A 小人数学級の良さを
生かした個に応じた
指導の充実

村長

小学校児童及び中学校
生徒が同じ屋根の下で学
校生活を送ることで小中
連携教育の推進が図られ、
少人数学級の良さを生か

した個に応じた指導の充
実等考えています。
一体型の校舎となった
ことにより、現在まで小
中学校において様々な方
向から調整を重ね新年度
を迎えることとなります
が、今後の一年間につい
ては、調整をしながら小
中学校のベストな体制を
築いて行きます。
(再質問あり)



Q空き家調査結果と対策は A移住促進への活用



池谷

空き家、調査結果並びに今後の空き家対策は

ふるさと創生推進室長

国の「空き家対策の推進に関する特別措置法」により昨年7月から今年2月に「地方公共団体における空き家調査の手引き」及び「山梨県空き家実態調査マニュアル」を参考に空き家一次調査を実施し、確認のできた78名にアンケート調査を行い38名から回答がありました。（*別掲）

また、6件については現在住宅として活用しているとの回答があったため、調査による空き家は72件でした。

移住促進の活用方法としての、「道志村空き家バンク」への登録については、「登録する予定はない」が79%、「登録したい」が

6%2名で、ほとんどの人が登録の意思がない事がわかりました。

本調査は1次調査として実施したわけですが、

村長

A農務事務所の指導を受け、ハウス・露地の2本立てで取り組む

村長

現地調査から「空き家対策の推進に関する特別措置法」第2条2項に規定される「特定空き家等」と推測される建物も見受けられたため、今後は危険性や周辺に与える影響などを考慮しながら、空き家2次調査として除去詳細調査等を実施する必要があると思います。

また、現在「道志村空き家バンク」登録は6件ですが、移住者のための空き家を確保するために、今後も空き家バンクの周知、斡旋を行っていきま

平成28年度から新たな特産品の開発として食用菊の栽培に取り組んでおりますが、食用というところで消毒を抑えたことから虫が発生し販売するものが出来ませんでした。虫を除去したものを役場で試食しましたが味はともおいしかったので、昨年の経験を踏まえながら農務事務所の指導を受け、引き続き今年もチャレンジしてまいります。

昨年はハウス栽培のみで考えていましたが、露地栽培も可能であるのご意見をいただきましたので、今年はハウス・露地2本立てで取り組む予定です。

Q食用菊栽培の結果と今後の取り組みは

（再質問あり）



村内の空き家

空き家アンケート調査結果 (回答 38件)

管理状況

1カ月に1回	2～3カ月に1回	未管理
67%	18%	15%

今後の活用方法

セカンドハウス/倉庫	住居	未定
36%	36%	28%

Q ふるさと納税サイト掲載後は A 33件 納税額は36万9千円



すすむ 佐藤 議員

佐藤

ふるさと納税サイト掲載後、納税件数と納税額は

総務課長

7月からサイト掲載に向けてサイト運営業者と協議を続け、昨年11月20日から掲載を開始しています。

4月から11月20日までの状況は、12件納税額275,000円でしたが、11月20日以降の納税状況は、件数33件納税額は369,390円となります。

28年度の全体実績は、2月末現在で、45件納税額644,390円となりました。

Q 道志の湯露天風呂の改修を実施し、新たな営業を始めたが、その後は

A 前年とあまり変わらない

産業振興課長

道志の湯リニューアル後は、新たな露天風呂の宣伝広報や接客に関する指導などを行い、7月までの入場者は順調に増加し、予定額以上の売り上げがありました。

しかし8月後半台風以降、長雨の影響により、9月からは客足が伸びず、トータルでは前年とあまり変わらない状況です。

Q 1月～3月までの冬期間の営業時間に変更がありましたその理由は

A 人手不足が原因

産業振興課長

営業時間の短縮、食堂の営業休止の原因は従業

員の退職による人手不足が原因です。パートの募集を村内だけではなく、都留市でも実施しました。声かけ集めたアルバイト

員によって営業をしているところ。現在は人員確保のめども立ち、4月以降平常の営業に戻る予定です。

(再質問あり)



4月以降平常営業に戻る道志の湯

Q 児童健全育成事業、学童保育の運営方針は

A 本村ならではの学童保育の充実を図る



佐藤

学童保育は福祉の場として、教育の場として、文化創造の場としての役割が期待されていると思うが、この面からみた現状認識と今後の運営方針は

村長

学童保育所は子どもたちの成長過程において、福祉の場であり、教育の場及び文化創造の場など多面的な役割を果たす大切な場であると考えています。

今後も、5年間の運営経験を活かし、保護者が安心して子育てと就労を両立できるよう、指導員をはじめ、関係者との連携を図り、子どもたちの生活を守り、その健やかな成長を援助していききたいと考えています。

また、新小中学校の一

体型校舎による教育関係者との連携も密にし、同一敷地内という立地を有効活用した道志ならではの学童保育の充実を図っていききたいと考えています。

道志村立小中学校評議員設置要綱により学校評議員会を設置し学校運営に關して協議を行い教育委員会への報告がなされています。

今後、一体型校舎のもと小中学校のベストな体制を築き小中一貫教育の推進を考えています。
(再質問あり)

Q 教育委員会として、また、道志村総合教育

会議における村長としてのコミュニケーションスタイル制度の導入に対する認識と方新は

A 協議会の承認を得る

村長

学校運営協議会制度については、学校運営に関する事項について基本的な方針を作成し、協議会の承認を得る等、認識はしています。

教育長

現在、本村においては、



Q 小田原甲府線構想の再構築は

A 県道都留道志線の整備促進を優先



杉本

小田原甲府線構想は平成19年度以降、活動が休止状態あり、広域的な防災面からも、再構築の考えは

村長

19年度以降、山北道志線については、整備促進に向けての活動は行っておりません。

しかし、新しい人の流れをつくり定住化を図るには、生活基盤整備が必要と考えます。安心安全のための避難路の確保、また、通勤・通学などの生活道路としても、必要路線であると考えますが、今ある幹線道路へのアクセス強化として、国道413号線、県道都留道志線（防災トンネル）の整備促進を優先したいと考えております。

Q 小田原甲府線構想が

実現すれば山北町へのスマートインターチェンジの設置が決まった今、富士山噴火、東海沖地震等の緊急時に備えて、中央自動車道と東名高速道路を結ぶ最短ルートになる。

南へのルートが確保され、又神奈川県西部への雇用の多い地域に接続できるため、定住人口の増加に寄与できるものと考えるが、村長の考えは

A 実現性や費用対効果等を考慮

村長

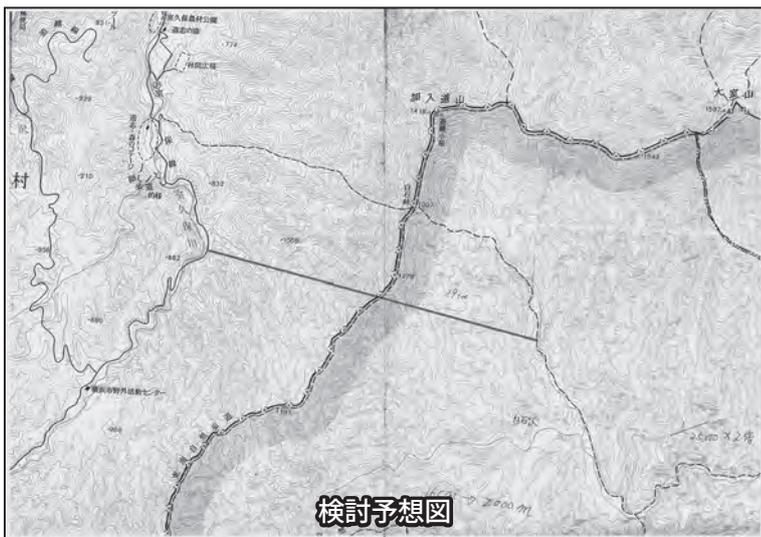
東名高速（山北スマートインターチェンジ）・中央自動車道へのアクセスは、非常に重要であります。

国道413号線の野原〜月夜野間のトンネル整

備を含む国道の拡幅改良を行うことを推進していきますが、これにより圏央道・東富士五湖道路へ短時間で繋がることになり、防災トンネルを整備すること、中央自動車道へ

のつながりが良くなります。実現性や費用対効果等を考慮し、それぞれの幹線道路へのアクセス強化を図りたいと考えております。

（再質問あり）



*小田原甲府線とは平成12年度に静岡・神奈川・山梨3県の10市町村で「広域交通拠点整備計画調査研究会」において、建設促進協議会設立に向けて調査研究会で小田原甲府線と命名された。

動 報 告

●道志小学校校舎維持管理への要望

平成 29 年 2 月 22 日

平成 28 年 12 月 13 日に、以前施設見学の際に取り上げた床の汚れについて、設計者並びに施工業者の立ち合いのもと説明を求めた。

設計者より、床の保護については、床ワックスの仕上げ後の手入れ方法も提案されましたが経費も掛かるため、村長に予算化の要望書を提出しました。

また、今までの中学校による学校施設の維持管理を検証し、日頃の掃除方法のあり方について検討していただくと共に今後の床の保護に努めていただくようお願いしました。



要望書の提出

●山梨県東部広域連合議会報告 <大鶴楽生園の廃園を決定>

平成 29 年 2 月 24 日

1. 平成 29 年定例議会において山梨県東部地域唯一の養護老人ホーム大鶴楽生園を平成 29 年度で廃園することに決定した。廃園理由は、施設の老朽化と入園者の減少によるものですが他の制度の充実もあり今後の入園者の増加は見込めないことによるものです。
2. 山梨県東部広域連合は大鶴楽生園の存続について、法人化を図り継続するため協議を重ね県内外の事業者と交渉して参りましたが、同施設は単独での採算が困難であるためです。
3. 大鶴楽生園の入園者は現在、定員 60 人に対し 41 名ですが東部広域連合は時間をかけて県内の他施設への入所等、本人との協議をして、廃園の手続きを進めていきます。

●全国森林環境税創設促進議員連盟に加入

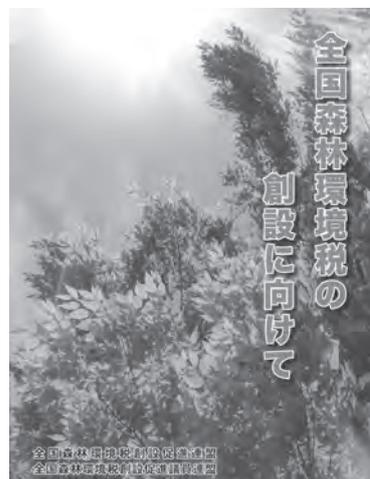
平成 29 年 3 月 22 日

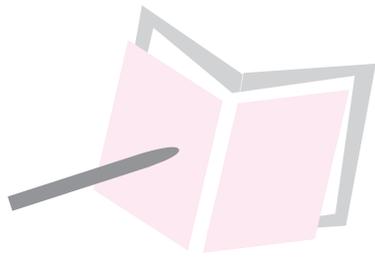
2 月 27 日、辻一幸早川町長が来村した。辻町長は現在、全国森林環境税創設促進連盟の会長をしていて「全国森林環境税」の早期実現を目指して運動を展開しています。

国土の 7 割を占める森林は、所有者不明林の増加や山村・林業の衰退等により、荒廃が進んでいます。

このまま放置すると、台風や大雨による土砂崩落などの大規模災害を招くことになります。こうした課題に対応するためにも「全国森林環境税」の創設は急務です。すでに道志村は本連盟に加入しており、議会も趣旨に賛同し議員連盟に加入することを決定し、その手続きを行いました。

平成 28 年 10 月 3 日現在 会員 563 市町村 333 議会





議会活

●第32回山梨県市町村自治講演会参加

平成29年2月2日

山梨県自治会館にて、嘉悦大学教授 高橋洋一氏による「最近の政治経済情勢について」講演会があり、5人が参加しました。トランプ米大統領誕生による世界経済に与える影響、今後の日米関係の在り方、TPP・日米安保・マクロ経済政策。国内における金融政策、政府の連結バランスシートの解説等、元財務官僚で、気鋭の経済学者とし金融政策を数式やグラフなどを用い分かりやすく講演してもらい、大変参考になり、今後の議員活動に生かせるよう、熱心に受講しました。



自治講演会の様子

●町村議会議員セミナーⅢ参加

平成29年2月10日



小菅村役場にて研修

小菅村において開催された、第3回議員セミナーに議員9名で参加しました。講師は山梨学院大学教授、江藤俊昭氏で、「人口小規模町村における議会のあり方」について講義を受けました。今回は、その中において「町村議会の突破力と課題」、「住民自治の根幹をなす議会」の意味とその作動とについて、実際に取り組んでいる、長野県の飯綱町議会や北海道浦幌町議会を例に、人口小規模町村議会の特徴である、「定数・報酬・政務活動・事務局職員」の少なさ等に対するのメリットやデメリット、地方政治の重要性を研修しました。

終了後は、庁内の多目的に利用できる議場を案内して頂き、今後道志村役場新庁舎建設時には、参考にしたい庁舎でした。

●水カフェどうしの効果検証実施

平成29年2月21日

平成29年2月21日「地方創生加速化交付金」事業実施に伴う効果の検証について「水カフェ道志」の効果検証を議会で行い課題を把握し、問題を解決して最大限の効果を出していくこととなっております。「水カフェどうし」の開設からの経緯を担当者から説明を受け、横浜の現地に出向き現場で視察・検証したのち、外部団体である横浜水道会館、石井理事長、的場専務理事に「水カフェどうし」の運営状況、同施設での情報発信方法、横浜市民の水源地道志村に対する認知度などについて、話を伺い総括的に検証を行った。



水道会館での聞き取り

あの一般質問は今…

平成23年12月定例会

質問

し尿処理対策は、また費用対策は

答弁

し尿処理は、大月都留広域事務組合に960kl、青木ヶ原衛生センターに1056kl、合計年間投入量2016klの枠内で処理を委託している。費用は横浜市との契約により処理しているが合併浄化槽設置事業終了時に検討対処する。

平成27年3月定例会

質問

国道413号どうし道の危険箇所、及び13項目の進捗は

答弁

平成26年度においては13箇所の危険箇所とその他2箇所の要望箇所と併せて、山梨県富士東部建設事務所へ議会と村の連名で要望書を提出している。

その結果今は



国道413号線危険箇所

山梨県と現地調査を行い事業の緊急性規模、効果の検証を行い事業化を、要望している。月夜野～大渡間の国道整備は村道移管後のことを考慮し危険箇所の解消を図っている。



浄化槽工事

合併浄化槽設置事業は最終年度を平成30年まで延長している。また、処理管理費用は横浜市との当初の契約に基づき助成を受けている。し尿処理は、二ヶ所の処理事業所へ委託し投入量の枠内で収まっている。

議会の考え

年度毎に議会と村が合同で県に継続して要望活動をしていくこと。

目標年度平成30年度までの設置数573基の達成を期していただきたい。

紹介

民生委員児童委員会

会長 山口章

村民の立場に立った

福祉事業・子育て事業・高齢者事業

私たち民生委員児童委員の活動にご理解ご協力を頂き村民の皆様へ御礼申し上げます。

昨年11月に新任民生委



ふれあいサロンへの協力

員児童委員に任命委嘱され活動させて頂いております。

不慣れではありますが皆様の指導協力を頂きながら頑張っております。また、私たちの活動が村民の皆様への生活の御手伝いになればと思っております。さて私たち民生委員児童委員の活動を一部分紹介をさせて頂きたいと思っております。道志村全体を15地域に分割し各地域に担当地区委員を置いて15名で活動しております。各地

区委員が地区住民の皆さんの生活状態、健康状態など把握して相談支援をさせて頂いていきます。また、協議会全体の活動では、常に住民の立場に立った福祉事業、子育て事業、高齢者事業など住民生活での対応を村役場、村社会福祉協議会の橋渡しになります。

私達は「民生委員児童委員の信条」の精神を遵守し、身近な困り事相談員になりたいと活動しております。

2月6日高齢者事業として社協の方と高齢者夫婦世帯を訪問させて頂きました。高齢者夫婦のみ

の世帯で不自由な事も多いのではと思つていましたが、訪ねてみて驚きました。

家の回りは整理整頓され綺麗に片づき、庭には福寿草が咲き始めています。ご夫婦が共に生活を楽しんでいる姿に若い自分達が恥ずかしい思いがしました。

また、何か不自由なところがあればいつでも声を掛けて頂くようお願いして帰って来ました。



高齢者夫婦世帯の訪問事業

私達の活動が、住民の皆様の手助けの橋渡しになればと委員一同頑張つて行きたいと思っております。どうぞ宜しくお願い致します。

がんばる人紹介

野球を通して子どもたちにスポーツの楽しさを！



道志野球スポーツ少年団
監督 山口 大介

平成2年、善之木・唐沢・道志の3つに分かれていた少年野球チームが1つになって、現在の道志野球スポーツ少年団が結成されました。当時、小学校4年生だった私は、チームの一員として毎週の練習を楽しみしていたものです。

あれから27年が経ち、自分の子どもが入団したことを機に、今では指導者として関わらせてもらっています。3年間のコーチ経験を経て、昨年9月より監督として指導を行っています。

振り返ると、私が人生で最初に触れたスポーツが野球でした。そこで体を動かす楽しさや、プレーが上手くいった時の喜び、失敗し

た時の悔しさ、それらを仲間と分かち合う大切さを学びました。今でも、試合でホームランを打った感激は忘れられません。今の子どもたちは運動不足だと言われていますが、それが少しでも解消し、将来ずっとスポーツを楽しめる基礎を作れるように、指導していきたいと考えています。

毎週月・水曜日の午後6時30分から村民グラウンドで練習を行っています。(雨天時は唐沢体育館) 気軽に見に来てください。



現在、11人で q(^ ^)p!

写真募集中 (議会だよりに掲載させていただきます。)

編集後記

寒さも緩み、春近しと梅の花も咲き始めた3月は、旅立ちの月でもあり、村内でも中学校11名と小学校では、現在の校舎での最後の卒業生10名が大きな希望を抱き、卒業していきました。

私達議員も、7日から11日間の会期の3月定例会において、29年度当初予算を議決しました。議会を終えて、ようやく年4回の定例会を終え議員活動が1年たちました。

議会だよりにおきまして、委員全員が未経験者のため試行錯誤の1年でした。

これからも、村民の皆様にご協力いただける様、頑張りますのでご協力お願いします。(佐藤 進)

広報常任委員会

- | | |
|------|-------|
| 委員長 | 菅谷 政文 |
| 副委員長 | 佐藤 長久 |
| 委員 | 杉本 孝正 |
| 委員 | 佐藤 進 |